

地域の声を議会へ届ける新たな一歩

菊池市議選結果

5月24日(日) 投票されました菊池市議会議員選挙において、連合熊本推薦候補出口 慎太郎氏が見事初当選を果たしました。

今後、組合員や地域の皆様の声を議会に届け、力強く活動されるものと期待します。これまで候補者の当選に向けてご尽力いただいた構成組織、地域協議会、熊退連の皆様に、心より御礼申し上げます。

投票率 50.54% (前回無投票 前々回60.01%)

出口 慎太郎氏 (初当選)
当選 (484票 19位/定数19)



出口慎太郎さん

第21回統一地方選挙 連合熊本推薦候補者決定

※今後も新たな推薦候補が決まり次第お知らせします。年齢は発行日現在

連合熊本は、5月8日(金)第7回政治センター幹事会、5月19日(火)第7回執行委員会、5月29日(金)第8回政治センター幹事会、6月17日(水)第8回執行委員会を開催し、第21回統一地方選熊本市議の候補者推薦を決定しました。

連合熊本は、組合員の皆さま、そして地域の皆さまと共に、より良い社会の実現に向けた取り組みを今後も力強く進めてまいります。推薦候補者については、決定次第、随時お知らせいたします。

水俣市議会

現2期無所属(県南地域協議会)

杉迫 一樹 (45歳)

熊本市議会(中央区)

現6期 社民党 (日教組)

村上 博 (75歳)

支援活動の継続と新たな社会貢献へ

熊本県自然災害遺児救援会 第29回定期総会開催

熊本県自然災害遺児救援会は、5月25日(月)に熊本県労働者福祉会館にて第29回定期総会を開催しました。

同救援会は、県内で発生した自然災害により親を亡くした子どもたちを支援するため、1999年より活動を続けています。昨年度は、8月豪雨災害に伴い災害遺児が発生したことから、遺児弔慰金の支給をはじめ、公益団体への寄付や広報宣伝活動などを行いました。

今年度は、熊本県交通安全推進連盟および特定非営利活動法人ソナエトコへ寄付を実施しました。今後も、これ

までの取り組みを継承しつつ、社会貢献活動のさらなる展開につながる活動を進めていきます。



会議の様子



熊本県交通安全推進連盟へ贈呈



特定非営利活動法人ソナエトコへ贈呈

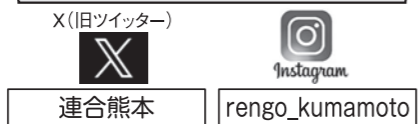
編集後記

毎年取り組んでいる「平和4行動」が今年も始まります。戦争や暴力のない社会を願う気持ちは、どんな時代でも変わらない大切なものです。連合熊本では今年も広島・長崎での行動において、千羽鶴の献納を行います。参加は難しくても平和に対する思いを込めて折り鶴を作ることは、大切な関わり方だと思います。日々の暮らしの中では、平和についてゆっくり考える時間はなかなか取れませんが、こうした機会に思いを寄せてみてはいかがでしょうか？

未来の世代が安心して暮らせる社会をつないでいくためには、私たち一人ひとりの思いと行動が欠かせません。無理のない範囲で、平和について考える時間を持てれば幸いです。

Topics RENGOKUMAMOTO

連合熊本公式SNSのご案内



https://twitter.com/RengoKumamoto
https://www.instagram.com/rengo_kumamoto/



今後の主なスケジュール

- 6月25日 連合熊本推薦議員団会議第1回幹事会
- 〃 連合熊本推薦議員団会議第20回総会
- 〃 連合熊本推薦議員団会議学習会
- 29日 連合熊本第11回熊本大学寄付講義
- 7月6日 連合熊本第12回熊本大学寄付講義
- 10日 連合熊本第9回執行委員会
- 13日 連合熊本第13回熊本大学寄付講義
- 18日 連合熊本第18回ピースアクション



RENGO KUMAMOTO

新たな社会をめざして

連合熊本

3811 情報

発行 日本労働組合総連合会
熊本県連合会
発行・編集責任者 徳富 幸平
編集者 東 郷史
〒862-0976
熊本市中央区九品寺1丁目17-9
☎(096)375-3811 FAX(096)375-3017
印刷所 株式会社 チューイン
2026年6月25日発行 No. 404

2026春季生活闘争も終盤戦

熊本県全体の賃上げ額 15,376円 率 4.68%

第3回賃上げ回答集計

連合熊本は、2026春季生活闘争における第3回集計結果を6月9日(火)に公表しました。

熊本県全体の賃上げ額(回答済み81組合)は、定昇相当分を含む賃上げ計15,376円、率で4.68%となりました。前年同時期と比較すると率では0.22ポイント下回るものの、賃上げ額は前年を1,838円上回っています。

企業規模別では、300人以上の企業が16,337円・4.66%(2,222円増、0.11ポイント減)、300人未満の企業が12,539円・4.73%(139円増、0.41ポイント減)となり、いずれも前年を上回る水準です。全体・中小組合(300人未満)・300人以上のいずれにおいても賃上げ額が伸び、率も4%台を維持しており、物価上昇を背景に実質賃金の改善をめざした労使交渉が県内で継続していることが伺えます。

一方で、企業規模間の賃金改善状況には課題も見られます。熊本県全体と300人未満の賃上げ額差は2,837円(昨年同時期は1,138円)となり、企業規模間格差が拡大しています。中小・地場組合への波及をさらに強めていく必要があります。

賃上げが明確に把握できる75組合すべてでベースアップ(賃金表の改善)を獲得しました。このうち「金属・化学・食品・製造等」では賃上げ率が5%以上と高い伸びを示し、「インフラ・公益」でも14組合でベースアップが実施され、4%台の賃上げ率となりました。物価高騰への対応、人材確保・流出防止の観点から企業側の賃上げ意識も高まり、定期昇給に加えベースアップを含む賃金改善が広がっています。また、「労働協約条件の改定」「価格転嫁への取り組み」「非正規雇用に係る要求」「ジェンダー平等に係る要求」など、多岐にわたる要求・交渉が継続されています。

中小地場組合の交渉は現在も続いており、深刻な労働力不足の中で人材確保・定着には継続的な賃上げが不可欠です。地域経済の好循環を実現するためにも、中小地場企業において「人への投資」を進める必要があり、適正な価格転嫁の促進と取引適正化による原資確保が重要となります。

連合熊本は引き続き、「サプライチェーン全体で生み出した付加価値の適正分配」や「適正な価格転嫁」の実現に向けた取り組みを強化し、賃上げや労働環境の改善を求める交渉を構成組織と連携しながら後押しするとともに、最後まで未妥結組合の要求実現に向けた取り組みを支援していきます。

連合熊本 賃上げ集計推移 (平均賃金方式・組合員一人当たり加重平均)



2026春季生活闘争 第3回賃上げ回答集計結果

熊本集計	2026年6月8日 集計				2025年6月9日 集計			
	組合員数	組合員数	定昇相当分	定昇相当分	組合員数	組合員数	定昇相当分	定昇相当分
平均賃金方式	81組合	23,950人	15,376円	4.68%	79組合	19,222人	13,538円	4.90%
300人未満	59組合	6,063人	12,539円	4.73%	58組合	6,450人	12,400円	5.14%
300人以上	22組合	17,887人	16,337円	4.66%	21組合	12,772人	14,115円	4.77%

※2026年6月8日集計と2025年6月9日集計は、集計対象組合が異なるため、単純比較はできません。
※「定昇相当」と「賃上げ分」のいずれかが未記入の組合もあるため、「計」は「定昇相当分+賃上げ分」と一致しません。

賃上げ分が明確に分かる組合の集計(熊本集計)

平均賃金方式	2026年6月8日 集計(組合員数による加重平均)				2025年6月9日 集計(組合員数による加重平均)			
	組合員数	計	定昇相当分	賃上げ分	組合員数	計	定昇相当分	賃上げ分
全体	75組合	15,474円	6,665円	10,454円	72組合	13,745円	4,570円	10,611円
300人未満	53組合	12,732円	3,699円	10,008円	53組合	12,384円	3,313円	9,932円
300人以上	22組合	16,337円	7,584円	10,594円	19組合	14,452円	5,341円	10,959円

※2026年回答と2025年回答は、集計対象組合が異なるため、単純比較はできません。
※「賃上げが明確に分かる組合」とは、「賃上げ分」の金額を報告いただいている組合となります。
※「計」は「定昇相当分」が未報告の場合があるため「定昇相当分+賃上げ分」と一致しません。

県内賃上げ1万5376円
連合熊本第3回集計 3年連続4%超え
26 春闘
賃上げ額は前年より1.8%増の15,376円となり、率も4.68%と前年より0.22ポイント下回った。賃上げ額は前年より1,838円上回った。賃上げ率は前年より0.22ポイント下回った。賃上げ額は前年より1,838円上回った。賃上げ率は前年より0.22ポイント下回った。

第97回メーデー肥後有明集会は4月25日（土）、荒尾市グリーンランドリゾートで開催しました。今年も組合員とご家族、約1,000人が集まり、盛大に開催することができました。

主催者を代表して馬場議長が挨拶した後、連合熊本の山本会長、荒尾市の浅田市長、各事業体代表の皆さまからご挨拶をいただきました。続いて、青年連絡会の田上幹事（ヒラタユニオン）がメーデー宣言を力強く提案し、満場の拍手をもって採択されました。

今年も3年ぶりに会場をレインボードームへ移し、新たにグリーンランドに導入されたオーロラビジョンを使用してタイトルとテーマを映し出し、近代的な雰囲気を演出しました。

第2部のお楽しみ抽選会では、グリーンランドや各事業体からご提供いただいた賞品を含め、多くの景品が準備され、大いに盛り上がりました。終了後は、多くの参加者がご家族でグリーンランド遊園地を楽しまれました。



ガンパロー三唱



抽選会の様子



松村議長あいさつ



連合 小材副会長あいさつ

菊阿地協は4月29日（水・祝）、大津町生涯学習センター文化ホールにおいて、第97回メーデー・第21回菊阿地協メーデー集会を開催し、組合員とご家族など約400人が参加しました。

今年もオープニングは、地元「大津太鼓」の演奏で幕を開けました。式典では16名の来賓をお迎えし、主催者を代表して松村議長が、日頃からの連合地協活動への御礼と、春闘での取り組みに対する感謝を述べました。

来賓あいさつとして、連合熊本の小材副会長、立憲民主党熊本県連の出口副幹事長、社民党熊本県連の勢田副代表、国民民主党熊本県連の大倉副代表、さらに開催地である大津町の金田町長よりご挨拶をいただきました。事業体代表としては、九州労金菊池支店の桑原支店長にご登壇いただき、最後に平川幹事がメーデー宣言（案）を読み上げ、満場の拍手で採択されました。

式典終了後は第1回抽選会を行い、地元・大津町を中心としたキッチンカーにも出店いただきました。第2部では再び大津太鼓の演奏が披露され、構成組織や福祉事業体より提供いただいた賞品による「第2部おたのしみ抽選会」を実施し、大いに盛り上がりました。

天草宇城上益城地協宇城・上益城地区では4月25日（土）、嘉島町民会館アクアホールにて「メーデー宇城・上益城合同祭典」を開催し、158名の皆さまにご参加いただきました。

第1部の式典では、赤星上益城地区連代表の挨拶に続き、4名の来賓よりご挨拶を頂戴しました。その後、メーデースローガン・メーデー宣言を採択し、最後にガンパロー三唱で会場が一体となり、式典を締めくくりました。

第2部のステージイベントでは、平成音楽大学によるサクソフォンアンサンブルが会場を華やかに彩り、続く琉球国祭り熊本支部による迫力あるエイサー舞演に、参加者から大きな拍手が送られました。地域の文化と学生の力が融合したステージは、世代を超えて楽しめる内容となりました。

最後のお楽しみ抽選会では、番号が読み上げられるたびに歓声が上がリ、終始笑顔の絶えない時間となりました。



赤星上益城地区連代表あいさつ



平成音楽大学による演奏

天草宇城上益城地協天草地区では4月29日（水・祝）、天草本渡あましんスタジアム駐車場にて「メーデー天草祭典」を開催し、135名以上の参加をいただきました。

第1部の式典では、丸田天草地区連代表の挨拶に続き、2名の来賓より温かいご挨拶を頂戴しました。その後、メーデースローガンおよびメーデー宣言を全員で採択し、力強いガンパロー三唱で式典を締めくくりました。



丸田天草地区連代表あいさつ



餅投げ抽選会

第2部のステージイベントでは、天草ならではのハイヤ踊りと歌の披露があり、会場は笑顔と拍手に包まれました。フィナーレの餅投げ抽選会では、子どもから大人まで大いに盛り上がり、会場全体が一体となる楽しいひとときとなりました。地域の皆さまのご協力により、今年も活気あるメーデーを開催することができました。

第97回メーデー人吉球磨地協祭典は、5月2日（土）、球磨郡相良村総合体育館アリーナおよび駐車場等において、「対話と連帯で築く、平和で笑顔あふれる未来 真の働き方改革で、安心してらせる社会を！」をメインスローガンに掲げ、暑いほどの晴天に恵まれる中、組合員・家族など約350人が集まり開催しました。

主催者を代表して柿田将博議長が「誰もが尊厳をもって働き、生きることのできる社会を築くことが使命。不安な時代だからこそ、私たちの連帯が希望になる。メーデーの集いを力に変え、誰もが安心して働き、生きられる社会をともにつくっていきましょう」と挨拶しました。続いて、連合熊本の山本寛会長ほか3名の方々より祝辞をいただき、その後、中村龍介青女連絡会議長がメーデー宣言（案）を提案し、満場の拍手で採択されました。

最後に、吉村議長の「ガンパロー三唱」により第1部式典を締めくくりました。第2部イベントでは、各産別による模擬店、リサイクルバザー、的当てなどの子ども向けゲームコーナー、キッチンカー、ミニSL乗車会などが行われ、参加した家族連れは思い思いに楽しんでいました。



山本会長あいさつ



イベント



主催者挨拶



UD-eスポーツ体験



お楽しみコーナー



無農薬無化学肥料栽培販売コーナー

県南地協は4月26日（日）、「第97回メーデー県南地区集会」を桜十字ホールやつしろで開催し、約300人が参加しました。松崎議長はあいさつで、「人への投資と格差是正、公式確認から70年を迎える水俣病被害者の真の救済と公害のない世界の実現、恒久平和、多様性を認め合う職場と社会づくり、そして労働と生活の環境を改善するための政治活動の必要性」を強く訴えました。

式典後には、ジョニー・デップが製作・主演し、水俣病を世界に知らしめた写真家ユージン・スミスとアイリーン・美緒子・スミスの写真集を原案とした映画「MINAMATA」が上映されました。また、UD e-スポーツの体験会や、水俣市職労組連合会の組合員が参加するバンド「さくらサイダー」による演奏なども行われ、会場は大いに盛り上がりました。

連合熊本「熊本大学寄附講義」開講

若者へ労働の意義を伝える学びの場 若者へ労働の意義を伝える学びの場

連合熊本は、4月13日（月）より連合熊本「熊本大学寄附講義」を開講しました。昨年度に続きの開講で、今年も15回の講義を予定しています。

「大学寄附講義」は、これから社会に出る若い世代に向けた労働教育事業として、労働組合の役割や労働運動の意義を伝えるとともに、働く上での課題を理解し、その解決力を養うことを目的に、大学の正規授業として実施しています。

5月11日（月）には、連合本部より小熊副事務局長が登壇され、「ILO（国際労働機関）～ビジネスと人権～」をテーマに講義を行いました。講義では、ILOが果たす国際的役割や、国際基準と国内制度のギャップについて、具体的事例を交えながら丁寧な説明がありました。また、

企業活動における人権尊重の重要性や、サプライチェーン全体で責任が問われる時代背景にも触れられ、労働組合としてどのように関わり、働く人の権利を守るべきかを考える契機となる内容でした。

これらの講義は、今後企業に就職する人、公務に就く人、起業する人、家業を継ぐ人など、「働くこと」を通じて社会の一員となる学生にとって、「働くことの意義」や「働き甲斐とは何か」を考える機会となっています。将来の職業選択やキャリア形成にも役立つ講義として、多くの学生が受講しています。

なお、7月6日（月）までの期間に全13講義を予定しており、連合熊本副会長や連合熊本労働弁護団の皆さまにもご登壇いただく予定です。



受講する熊大生



講義をする山本会長



連合本部 小熊副事務局長講義